



Title	「マチ」の証言 : ルマコ区 (1) : エウダリア・ライマンの場合
Author(s)	千葉, 泉
Citation	大阪外国語大学論集. 1998, 19, p. 233-259
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79776
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「マチ」の証言：ルマコ区（1） —エウダリア・ライマンの場合—

千 葉 泉

Testimonio de machis : Lumaco (1) — caso de doña Eudalia Raimán —

Chiba Izumi

< 1 > 序

1996年の7月下旬から9月中旬にかけてチリ南部に滞在し、テムコ市とトライゲン市を拠点に、近隣に位置する先住民マプーチェのいくつかの共同体を訪れる機会を得た。この滞在の目的の一つは、現代マプーチェ社会において重要な宗教的・社会的役割を果たすシャーマン「マチ machi」の現状、そしてマチを中心とする先住民の伝統的な医療体系と西欧近代医療体系との関係を調べることにあった。

そして滞在の比較的初期に筆者が対話する機会を得たマチの一人が、ルマコ区のある共同体に在住するエウダリア・ライマンである。エウダリアはこの対話ののち、自分が主導する治療儀礼「マチトゥン」に参加する貴重な機会を筆者に与えてくれた人物でもあった。

エウダリアの証言の最も重要な特徴は、現在のマチの職能に関する具体的な情報が示されていることである。特に、白人・混血系の一般チリ人患者の治療や一般チリ人の「邪術師」に関する彼女の指摘は興味を引く。

実際、筆者が参加を許されたマチトゥンで「邪術」系疾病の治療を受けた患者も、マプーチェではなく遠隔の首都サンティアゴ市から訪れた白人系の男性であった。また、白人系病人の治療や白人系の邪術師の存在に関する指摘は、エウダリアだけではなく、筆者が直接証言を得た他地区の複数のマチたちの証言にも共通しており、今日のマチの間ではむしろ一般的な事項であることがわかった。⁽¹⁾

今世紀の初頭以来、マチに関して書かれてきた研究は多いが、近年の研究も含めてその圧倒的の大半は「マチ＝マプーチェである患者の医療師」という閉鎖的な視点から分析を行っている。つまり、今日のマチが活動するより開かれた空間の実態が十分に研究されつくしているとは言い難いのである。

また上記の点以外にも、マチと西欧系医療機関との関係、マプーチェの伝統的宗教観とキリスト教的要素の混交など、先住民文化と西欧系文化の交流に関する多くの示唆深い情報がエウダリ

アの証言には含まれている。

以上から、エウダリアの証言は少なくとも、現代マプーチェのシャーマニズムの実態に関する具体例な1例を呈示するという意義を有するものと考ええる。そして、以下の証言はこうした問題意識に基づき、1996年8月15日にエウダリアの自宅で筆者がエウダリアとの間で交わした対話の大部分を対訳方式で訳出したものである。

< 2 > 対話の登場人物とその言語行動上の特徴

19世紀まで独立的な性格の強い領域を保持してきたマプーチェは、19世紀末のチリ共和国軍の「平定」によって狭い共同体に押し込められ、白人系社会との組織的な接触を強制されることになる。それ以降、大半のマプーチェの家族が貧困化していくとともに、言語・宗教・習慣など様々な側面で急速に「西欧化」のプロセスが進展して行った。

そうした急速な変化を経験した現代のマプーチェ社会において、シャーマンである「マチ」は、伝統的な価値を最も強烈に体現する存在として重要な社会的位置を占める人物である。また言語的にも、マチにはマプーチェ語を純粹に保持する傾向が顕著であり、外部者に対して強い警戒心を抱いている場合も多い。

マチがマプーチェ語を保持する主要な理由の一つは宗教的な性格のものである。今日、マチを任命し、彼らに治療上の様々な知識を伝授すると考えられているのは「父なる神」と呼ばれる神格である。そして、この「父なる神」はトランス状態のマチに降臨する際に儀礼的なマプーチェ語で話すばかりでなく、しばしば夢を通じて彼らに「マプーチェ語の保持」を命ずるという。

以上の状況に鑑み、筆者はエウダリアに対する質問の大部分をマプーチェ語で、そして一部のみをスペイン語で行った。

一方、対話の中心人物であるエウダリアは、ルマコ区に位置するマプーチェの共同体ビルマプに居住する女性のマチで、年齢は当時53才であった。彼女の出身地は同じルマコ区のケトラウエ共同体である。現在彼女が住むビルマプ共同体は、彼女の夫でマプーチェであるギジェルモ・ウエヌチェの出身共同体である。

エウダリアのマプーチェ語運用能力が完璧であることは言うまでもない。また、スペイン語の理解（聞き取り）に関しても高い能力を備えている。ただ、同じスペイン語の発話（話す）能力の方はマプーチェ語のそれと比べると低く、スペイン語のスタンダードな統語規範からすると「誤り」といえるような用法も随所に観察される。

ただ、そうした統語的な特徴よりも重要なのは、「術 *arte*」、「霊 *espíritu*」、「魔術 *magia*」など白人系の邪術に関して表現する際、彼女がしばしば意識的にスペイン語を用いることによって、先住民系の邪術行為と言語上区別していることであろう。

次に、筆者とエウダリア以外に対話に参加している人物は二人いる。

一人は我々に同行してエウダリアとの対話の仲介をしてくれたマプーチェ女性である。彼女はピリルマプ共同体近郊の集落に住む 30 才前後の人物で、共同体の中で西欧近代系医療の補助活動を行い、マチであるエウダリアとも親しい間柄にある。

彼女のマプーチェ語のヒアリング能力は完璧で、対話の後、エウダリアの発言の中で不明な箇所があったら自分に尋ねるようにと筆者に申し出ている。しかし、自分がマプーチェ語で話す能力は極めて低く、この対話の場でも全て流暢なスペイン語で発言している。今日の若い世代のマプーチェに典型的に見られる、いわば「受動的バイリンガル *bilingüe pasivo*」の一人である。筆者との比較でいえば、マプーチェ語のヒアリング能力は筆者に勝るが、スピーキング能力は筆者より劣っている。

そしてもう一人は、私の友人のダニエル・アラセーナ氏である。ダニエルはチリ北部ラ・セレーナ市出身の通常のチリ人、つまりヨーロッパ系のチリ人で、イタリア人移民の子孫の女性を妻に持つ。ダニエルは、トライゲン市内にある個人クリニックで歯科医として働き、かつてルマコ集落にある総合診療所の所長を勤めた経験もある。いわば、この地域の西欧近代医療体系を代表するインテリ層チリ人といえる。

もちろん、ダニエルはマプーチェ語は一切理解せず、すべての発言を完全にスペイン語で行っている。

< 3 >対話の筆記上の特徴

上で述べたように、筆者はエウダリアへの質問の大半をマプーチェ語で行い、一部のみスペイン語で発言を行った。それに対し、上記のマプーチェ女性とダニエルの二人は完全にスペイン語で発言を行っている。一方、エウダリアのマプーチェ語による返答にも、さまざまなレベルでスペイン語の表現が混入している。

そこで、かなり「純粋な」マプーチェ語を保持するタイプのマプーチェを取り巻く言語行動のコンテクストの具体例を呈示するという意図を込め、以下、実際の対話の様子を原語と日本語の対訳形式で可能な限り忠実に再現した。エウダリアのスペイン語による発言に含まれる、スタンダードな統語規範からは「誤り」といえる表現、そして筆者のマプーチェ語による発言のうち、統語上誤っている表現もそのまま表記してある。

また、基本的にはマプーチェ語で行われている対話の文脈の中で、スペイン語の表現がどのような統語上のレベルで、どのような状況のもとで、あるいはどのような意味内容を表現する際に用いられるのかを具体的に示すため、原文のうちスペイン語で発せられている部分については下線部を付した。そして、日本語の対訳のうちスペイン語に対応する部分についても、同様に下線部を付した。

記述の順序については対話の自然な流れを尊重したが、紙面の都合上、内容の重要度に基づい

てカットした部分がいくつかあり、この部分については「(中略)」と記した。

日本語訳の部分については、読者の理解を容易にするために必要であると判断される場合に、小カッコ内に挿入する形で語句を補足してある。また同じ目的で、日本語訳には内容ごとに小見出しを付してある。

なお、エウダリア家への訪問に付き添ってくれた「受動的バイリンガル」の女性は、対話の中では「マプーチェ女性 *Mujer mapuche*」という発話者名で登場する。

< 4 > マチ・エウダリアとの対話

（１）自己紹介とマチの仕事

「筆者」それじゃいくつか質問を、ええと、私がしますので、ね。

では、ええと、あなた。初めにあなたの全ての名前と、この共同体の名前を言って下さい。
「エウダリア」ああ、そうか。わしの共同体、ここはピリンマブという。ピリンマブという。ピリンマブじゃ。で、わしの夫はギジェルモ・ウェヌチという。わしはエウダリア・ライマンという。

わしはマチじゃ。マチとして働いとる。わしは一週間ずっと働いとる。ずっと、ああ、一週間ずっと働き通しじゃ。よその土地にも連れて行かれ、出かけて行く。わしを連れてゆくのでな、身内に病人がいる者がやって来てわしは連れて行かれ、それでその者に治療を施す。それで健康にもしてやるというわけじゃ、うん。

１人、いや２人は死なせてしまったこともあるがのう、でもその者たちにはもう死ぬべき時が来ておった。だから死んだのだ、この二人の、二人の者はな、死んで…

「筆者」手だてではなく、なく…、もうなかったんですね。

「エウダリア」なかった、ああ、もうその者たちには（治せる）薬草はなかった、もうなかったのだ。そういう段になった後でワシのところに連れて来られたのでな、だから死んだのだ、その者はな。一人の若い娘と一人の若者が死んでしまった。だが、それはもう臨終の時だったのじゃ。そう、臨終のな。

[Autor] Entonces kiñeke ramtun, ya, entuan ta iñche, no?

Ya, bueno, papai. Eimi wüne entuaimi ta mi kom üi, ka ta tüfachi lof ta ñi üi

[Eudalia] Ah, ya. Iñche ñi lof tüfa Pilinmapu pingei. Pilinmapu pingei. Pilinmapu. Y ñi fütä Guillermo Huenuche pingei. Iñche Eudalia Raimán pingen.

Machi iñche. Machi küdauken. Toda la semana küdauken iñche. Fill, mai, fill semana küdauken. Yengepaken ka mapu, amuken. Yepakeneu, nielu kutran yepakeneu, y datumekefiñ. Y mongelkefiñ tamién, pu.

Kiñe, epu lalkan, welu tüfei deu puwi ñi hora ñi layam. Fei lai tüfachi epu, epu che lai …

[Autor] Remedio no, no …, ngekelafui?

[Eudalia] No tenía, mai, niewelai lawen, ngewelai tüfeichi che. Fei ula küpalelngen iñche, fei mu lai, tüfei. Kiñe malen ka kiñe fochüm lai. Pero eso ya estaba último ya. Sí, último.

(2) 悪霊病と邪術師

「筆者」もうほとんど死んでも同然だったと。

「エウダリア」ほとんど死んでも同然になった後で連れて来られた、それでな、その者たちを治してやることはできなんだのだ。そうした者たちから悪霊を除去してやって、悪いウェクフを抜いてやるのじゃが、その術はかなり前にかけられていたのだな。

ウェクフを操るマプーチェがおるのだ、ウィンカ^㉓も同じだがな。ウィンカの中にもウェクフを従えてな、「術」^㉔を使って事を運ぶ者がおるのだ。「術」にやられた、事をしかけられた者の場合はもっと骨が折れる、それはな。(ウェクフを)簡単に抜き取ることはできんのだ。とても骨が折れるからのう、その「術」を、事を、事をしかけられた者の場合はな。

時にはワシの方が負かされることもある。ワシが負かされる、ワシの力も負けてしまうことがあるのだ。でな、そうするとこのワシも病気になってしまうのだ。

「筆者」ほう、あなたもですか。へえ。

「エウダリア」ああ、ワシも病気にな、そのウェクフのやつがこのワシも病気にさせるのだ。「術」の威力はすごくて、その「術」をかけられた者の場合、その時にはこのワシも病気になってしまうのだ。

それで、今もな、ワシの体は今、冷え切ってしまうとる。ワシの声はこんな風ではなかったのだがな。出かけて行って、そうして治療してやるのだ、その「術」をかけられた者をな。それで今ワシはこんな具合になって、体が冷え切ってしまうとおるのだ、今はな。話すこともできん。つまり、ワシも具合を悪くさせられたのだ。

[Autor] Epe layalu ya.

[Eudalia] Epe layalu ula akulngei fei mu, puedalafiñ mongelafiel. Nentuñmakefiñ ñi trafentu, nentuñmakefiñ wedake wekufü noike, kuifike adümngei tüfeichi dungu.

Weküfu deumakei mapuche, winka ka felei. Winka ka fei niekei wekufü, entre medio de “arte” küdauei. “Arte” küdaungelu küdaumangechi che, fei doi küdaungei tüfei. Nentungekelai awe. Rume küdaungekei tüfeichi “arte”, küdau, küdawelngeyüm.

Kiñeke mu yentukukeneu kafei. Yentukukeneu, yeñmakeneu ñi juerza tamiém. Fei, fei mu kutranken iñche tamién.

[Autor] Ah, eimi kai? Ah!

[Eudalia] Sí, kutranken, kutrankelakeneu kafei tüfeichi wekufü. “Arte” rume newenngkei tüfeichi “arte” küdawelfiyüm, fei mu kutranken.

Fei meu lle tüfa ka firkülen tüfa iñche. Femngelafui ta ñi voz. Amun, tüfei datumekefiñ tüfeichi nielu “arte”.
Fei meu felewen tüfa ka firkülen tüfa. Pepi dungulan. Fei ta wedakunupeneu kafei.

（３）マチになるための修練

「エウダリア」ワシは新米のマチでもあるしな、うん。ああ、ワシは年期を積んだマチではない。
新米のマチじゃ、ワシはな。

「筆者」何年になるのですか、マチ…

「エウダリア」ワシがマチになってから２年、もう少しになる、今ではな。３年以上ワシはマチを
しておる。

「筆者」でも、あなたはどうやってマチになったんですか。

「エウダリア」ワシをマチにしたのは、ある、叔母の一人がやはりマチなのだが、その叔母がワシ
をマチに仕立てたのじゃ。そう。ああ、叔母が一人いるのだが、それがワシの先生でな、その人
がワシにそのことを教えてくれたのじゃ。自分もこんな風なマチでな、でその叔母に教えられて、
それでわしもマチになったというわけじゃ。

[Eudalia] We machilen tamién, pu. Sí. Kuifi machi no ta iñche. We machi iñche.

[Autor] Tuntan tripantu ta machi ... ?

[Eudalia] Epu tripantu, pichi doi amulnien feula. Doi küla tripantu powülñien machingen.

[Autor] Welu, chumngechi eimi machiluwimi?

[Eudalia] Iñche machileneu kiñe, kiñe tía ka femngechi machi, machilpaneu. Mai. Sí, tía nien ñi una
profesora, fei enseñaleneu eso. Ka femngechi machi, fei ta enseñalpaneu fei mu machingen iñche.

（４）『天からのお告げ』としての『ペリモントゥ（幻覚）』

「エウダリア」しかしじゃ、人がマチになるには「ペリモ（幻覚）」に出会うしかないのだ、うん。
「ペリモントゥ」に出会ってな。⁹⁾ 天から「ペリモントゥ」が降りて来て、それでその「ペリモン
トゥ」に憑かれる、そうすると人はマチになるのだ。若い娘が皆そうなるのではなく、もし仮に
そうだとしたら、マチになれるのだとしたら、若い娘は皆マチになっとるはずじゃろ。そういう
ことじゃ。（笑い）

「筆者」でも、あなたは何のペリモントゥンに出くわしたんですか、マチに…。

「エウダリア」ワシには雷天のペリモントゥが憑いておって、それから山の像もワシのペリモで、
そして虹天もワシのペリモじゃ。ワシには三つのペリモントゥンが憑いとる。全部で３つの霊を
わしは持っとるんじゃ。

「筆者」とても強力なペリモントゥンに出くわしたんですね。

「エウダリア」彼らの力はとても強い。いつも天から降りて来るのじゃ、ワシのペリモントウ霊はな。だからな、そうして（これらの霊が）降りてきて、そうしてワシは（マチとして）働くのだ。

[Eudalia] Welu machingekei che perimontulu müten, pu. Nielu perimontu. Wenu mapu nagpakei perimontu, fei meu tulemi tüfeichi perimontu, fei mu machingekei che. No fill malen, femkefule, mechingekefule, fill malen machingekeafui. Así. [Ayei]

[Autor] Welu, chem perimontun cimi niefuimi ta mi machi ... ?

[Eudalia] İnche nien perimontu tralkan wenu, y chi wirin mawidangei ñi perimo, y relmu wenu ngei ñi perimo. Küla perimontu nien inche. Total son tres espíritus que tengo.

[Autor] Rume newen perimontun ta niefuimi.

[Eudalia] Rume newenngעיגון. Re wenu nagpakei ñi perimontu inche. Fei meu, fei nagpai, fei mu küdauken inche.

（5）『補助霊』による悪霊祓いと『毒盛り病』

「エウダリア」で、今あんたらが来ておるが、ワシにはどうしようもない。今のワシはただの人に過ぎん、ない…、今ワシには何も憑いてはおらん。何もな。憑いてはおらんのじゃ。ただこうしてぶらぶらしとるだけじゃ。ワシの霊がやって来て、それから初めてワシは（マチとして）働くのじゃよ。から…中に、体に取り憑いたウェクフを取り出す、取り出してやるのだ。また、術をかけられた者の場合も、それを取り出してやるのだ。

少し前に一つ、こんなにすごいウェクフを取り出してやったこともある。ここに住まわせている姪なんじゃが、取り憑いていたウェクフを抜いてやったのだ。やはり悪い仕打ちをされて、その娘は悪い食べ物を与えられてな、やられてしまったのじゃ、それで…

「筆者」ああ、そうかそうか、そのいわば「毒」みたいなもの、ですね。

「エウダリア」毒を盛られた時に、ワシはその毒を抜いてやるんじゃ、食べ物で盛られたやつをな。それを抜いてやるのだ、ワシはな。

[Eudalia] Y ahora tūfa ta eimün chumiawün. Igual soy persona no más no ..., yo no tengo nada ahora. Ni una cosa. Nielan. Ta trekarupayawün müten. Akuile wūla ta ñi espíritu fei ula küdauken nai. Nentuñmakefiñ wekufu ta che, pu cu..., cuerpo nielu, nentuñmakefiñ. Y üñfitungei ka nentuñmakefiñ.

Chumül wūla nentun kiñe, fantechi wekufü nentuñmafiñ. La sobrina que tengo aquí, nentuñmafiñ ñi wekufü. Kafei weda femngei, tüfei elungei weda iauel, deumalngei, fei ...

[Autor] Ah, ya ya, feichi como veneno reke, no?

[Eudalia] Venenotungei, fei nentutukefiñ feichi veneno mai, iael mu elngechi. Fei nentukefiñ inche.

（6）『胆嚢結石』は『医者』の担当

「エウダリア」まだワシには抜き去ることができんものもある。まだ新米のマチじゃからのうワシは。その、何だ、ウィンカは何と言うのかのう、その…、その…、肝臓にできる、あれ、あれは何と言うのかの。

「筆者」それは何ていうのかなあ、肝臓ですか。

「マプーチェ女性」肝臓って。ええ、肝臓、カステジャーノ語ではそうよ。

「エウダリア」ああ、出来てな、石が出来るんじゃ、うん。

「筆者」ああ、石ですか。ああ、それな…、胆嚢ですね。石が、でしょ。

「ダニエル」胆嚢？結石ですか？

「エウダリア」そう、それじゃ。そうしたものはワシには取り出せん、まだな。ああ。それで年輩のマチならそれを取り出せる、だが…、もっと年輩のものじゃ。ワシにはまだできん、その…。

「筆者」それはとても骨が折れるんですか。

「エウダリア」とても骨が折れるのだ、それはな、ああ、取り出…、うん、胆嚢を取り出すことはできん。それはな、だからワシはまだその術を施す域には達しておらんのだ。うん。

「筆者」でもやはりいるんですか、他のもっと年輩の、もっと年を取った…。

「エウダリア」ああ、メディコ（医師）の手で取り出されるのだ、それ（胆嚢結石）はな。そう、メディコが取り出すのだ…。

「筆者」ああ、メディコ、病院でですか。

「エウダリア」病院で取り出されておる、それはな、うん。

[Eudalia] Feike pudedekelan ñi nentuañel petu. We machingelu am ñiche. Tüfeichi, chem, chem pikei ama winka, el ..., el ..., hígado que tiene, el, como que le dicen eso?

[Autor] ¿Como diría eso, hígado?

[Mujer mapuche] ¿Hígado? Sí, hígado, en castellano sí.

[Eudalia] Sí, tiene que, niekei kura nga, mai.

[Auror] Ah, kura? Ah, enton..., vesícula. Kura, cierto?

[Daniel] ¿Vesícula? ¿Cálculo?

[Eudalia] Mai, fei. Feike nentukelañi ñiche petu. Sí. Ka antiguo machi nentukei tüfei, pero ... doi antiguo. ñiche pepükelañi petu eso...

[Autor] Rume küdauei feichi dungu?

[Eudalia] Rume küdaungei ése, sí, nentu... mai, vesícula nentukelañi. Ése fei meu petu poulán feichi küda. Sí.

[Autor] Welu mülei ka kangelu doi fúcha, doi kuse ...

[Eudalia] Sí, médico mu nentungekei tüfei. Sí, médico nentukei ta ...

[Autor] Ah, médico, hospital mu?

[Eudalia] Hospital mu nentungekei ése, sí.

（7）『胆嚢結石』を取り出す年輩マチ

「エウダリア」それからマチにもおる、年輩のマチにもおる、（胆石を）取り出す者がな。だがワシにはこの病は取りだせん。

「マプーチェ女性」あなたをマチに仕立てたあの人、あの人には確かに取り出せますよねえ。あの…、あなたの叔母さん。

「エウダリア」ああ、あの人は流…、うん、薬草を使って流し出すんじゃ。

「筆者」ああ、もっと…もっと、もっと年輩のものは、それじゃ…。

「エウダリア」ああ、薬草で流し出す。そう、もっと年輩の者は、薬草を使って流し出すのだ。うん、でも「手術」はやらん。他のマチ、他にも年輩のマチがおって、それを手術するんじゃ、そう。ナイフで取り出すのだ。でもワシに教えてくれたマチもナイフで取り出すことはせん、というのは、やはりその術を修得しておらんからじゃ。でも薬草で流し出すことなら確かにできる。ああ、薬草で流し出すことはな。

[Eudalia] Ka mülei machi antiguo machi mülei, nentukei kafei lle mai. Pero iñche nentukelañ feichi kutran.

[Mujer mapuche] La que la hizo machi a usted, ésa sí que saca. La ..., su tía.

[Eudalia] Sí, fei co..., mai, correlkei lawen mu.

[Autor] Ah, más ..., doi, doi kuse entonces ...

[Eudalia] Mai, correlkei lawen mu. Mai, doi kude che, correlkei lawen mu. Sí, welu oporakelai. Ka machi, ka mülei antiguo machi operakei fei. Nentukei cuchillo mu. Pero iñche ñi enseñaletuchi machi no entukelai cuchillo mu tampoco porque, kafei adümlai feichi küdau. Pero lawen mu correlkei sí. Sí, lawen mu correlkei.

（8）マチ職の知識修得にかかる多大な出費

「筆者」あなたは、この治療儀礼に関するあなたの知識をどうやって修得したんですか。

「エウダリア」ワシがまだ小さな娘だった頃じゃ、このくらいの幼い時にペリモンに遭遇した、そのころそれを見たんじゃよ。その…、小さな頃じゃ。小さな頃にワシはそのペリモンを見たんじゃ。

ワシはそのまま大きくなって、決してマチになることもなかった。というのは、ワシの家族は貧しかったので、金を持っていなかったのだ、十分な…、ワシを…マチにさせられるほどの金はなかったんじゃ。マチになろうとする者は多額の金を費やすものじゃ。貧しいものがその事に到達することはできん。

というのは、今でこそワシは夫のおかげでマチになれた、ほんの少しより余裕があるのでな。

ワシの家族より、ほんのちっとばかりだけだが余裕がな。

[Autor] Eimi chumngechi kimnicifuimi kom ta mi conocimiento ta tūfachi machitukal dungu meu?

[Eudalia] Iñche pichi malen ngen, fantenen mūten perimontun iñche, fei pefiñ tūfei. Fei..., pichin mai. Pichin iñche pefiñ tūfeichi perimon.

Felen tremün, nunca machilngelan tampoco. Fei como era mi familia pobre, nielai plata como ..., nielai plata como pa' que me ... machingcal. Machingeachi che rume gastakei. Un pobre poukelai feichi dungu meu

Porque feula machileneu ñi fūta, tiene un poquito más. Poquito más no más que mi familia.

（9）巫病

「エウダリア」それにワシの家族はひどく貧しいからの。ワシをマチにすることはできん、それでワシはそのままじゃった。ワシは病気にかかりっ放しじゃった。まるで泥沼にはまり込んでいるような感じで、歩くこともできなかった。歩くこともできなくてな、体がガタガタで、この手も何もかもが関節が外れてな、まるで片手しかないような感じがして、体が冷え切っていたものじゃ。そのペリモンのせいでワシはそんなだったのじゃ。

夫はワシを治すために並々ならぬ苦勞をした。それで今ワシはこうして一人前のマチになれたのじゃ、今はな。今ではそれで歩くことができるようになったのじゃよ、うん。歩けるほど元気になり、力もみなぎるようになったのじゃ。それに人を治すようにも、病人を治すようにもなったのじゃ。

[Eudalia] Que la familia mía es muy pobre demás. No es capaz ta ñi machilaeteu, y femkunuwün. Re kutrank-ülekefun iñche. Llodaukülekefun, yo no podía caminar. No podía andar, trafokaukefun, kuwü tūfa kom trafokefui, wellngelelu ñi kuwü trokiukefun tūfa, tuliukülekefun. Feichi perimon ñi femniectu.

Rume kutrankawi ñi fūta mongeleneu. Fei tūfa wūtrapūrātun machingen tūfa. Feula fei ta trekayaumutuken, pu. Yafūngētun trekayautual newenngētun. Ka mongeltukefiñ che, kutrankülelu mongeltukefiñ también.

（10）姻族に邪術をかけられたウィンカ患者

「筆者」ここにはマチの病人⁽⁵⁾だけが来るのですか、それともウィンカの病人も…。

「エウダリア」ウィンカの病人もやってくる。今週の土曜日にここにやって来ることになっておるのは、サンティアゴから来るグリーンゴ⁽⁶⁾、グリーンゴなんじゃ。で、ワシはその者の治療をして、それでマチトゥンを施してな、そうしてその者からウェクフを抜いてやろうとしておるのだ。

「筆者」チリ人じゃないんですか。グリーンゴなんですか。

「エウダリア」グリーンゴじゃ、うん。

「ダニエル」（彼は）以前に来たことがありますか。

「エウダリア」ああ、いつもここにやって来る。その者の孫の治療もしたことがあるし、その者の妻もじゃ。で…、今度はその者自身の治療をするというわけなのだ。ああ。

それにその者の息子も次に治療することになっておる。弁護士らしい息子がおるんじゃが、やはり同じように術をかけられているのだ。ああ、その弁護士に術をかけたのはな、自分の妻がその者に術をかけたのじゃよ。妻がその者に邪術をかけてな、それでやられたのじゃよ。その弁護士は妻と別れたのだが、それで妻が悪い術をかけたのだ。邪術をかけられ、具合が悪くなったのだ。

ウィンカのところで何とかしようとしたのだから、メディコ（医者）のところだな。だがその連中は、メディコはこの病気が何か知らん。「術」を、「霊の術」をかけられたのじゃからな、その者はな、それで…

「ダニエル」何の病気なんですか。

「筆者」その患者は何の病気なんですか。

「エウダリア」サンティアゴから来るその者かな。ああ、それは「霊の術」の病じゃ。「術」を、「黒い魔術」をかけられたのだ。「黒い魔術」をかけられた。「二重の魔術」をかけられたのだ、やって来るその男はのう。「黒い魔術」と「赤い魔術」をかけられておる。だから、やって来るそのウィンカのかけられた術はとても力が強いのだ、この土曜に…。

「筆者」その魔術、何と言われましたか、黒魔術ですかそれとも、何魔術…？

「エウダリア」それはウィンカの魔術じゃ。ウィンカの魔術じゃ、それはな。

「筆者」どんな事なのですか、それじゃあそのウィンカ…

「エウダリア」その者はな、その者は息子の嫁に邪術をかけられたのじゃ。息子がその妻と別れたのでな、それで恨みを買った、その家族全員が恨みを買ったのじゃ。その者が恨みを買ったのでな、彼らを殺してやると言われてしまったのだ。

邪術をかけたのじゃ、息…、そのチニューラ⁹は自分の息子に、その者に、その幼いウィンカにな。それはその子くらいの年齢好の小さいウィンカじゃが、その子もワシが治癒してやった。その者は悪い術をかけられたのじゃ、その者はな。自分の母親が邪術をかけたのだ。ああ。それから、自分の夫にも悪い術をかけ、舅にも邪術をかけ、姑にも邪術をかけたのだ、そのチニューラはな。

それでそう…、まず一人目のマチに診てもらい、「別のマチにも診てもらったんですが、私はどこでも治してもらえませんでした。」と言ったのだ。それでここにやって来たので、ワシが治癒したというわけじゃ。

[Autor] Tüfa ta kúpakei ta re machi kutranlu müten ka, ka winka kutranlu ta ka...

[Eudalia] Winka kutran kafei kúpakei. Tüfachi sábado mu akualu tüfa Santiago kupayaluchi gringo, gringo. Fei datuafiñ, fei machituafiñ, fei nentuñmaafiñ wekufü.

[Autor] Chileno no? Gringo?

[Eudalia] Gringo, mai.

[Daniel] Vino antes?

[Eudalia] Sí, akukei siempre, datuñmafiñ ñi nietu, ka datuñmafiñ ñi kure. Y... fei kisu feula datuafiñ. Mai.

Fei ñi fotüm ka inalealu. Parece un abogau niei, ka femngechi küdaumaniengi. Fei tüfeichi abogau küdaumacyu, kisu ñi kure küdaumacyu. Üñbitueyu ñi kure, y deumalngei. Wü dai ñi kure kai tüfeichi abogao, fei meu fei wedameketui ñi kure. İnbitungetui, fei mu mongelai.

Winka mu miyaukefui médico mu. Ése kimkelai médico tüfeichi kutran. “Arte, espíritu arte” deumalngei tüfei, y...

[Daniel] Que enfermedad tiene?

[Autor] Chem kutran niei feichi kutran?

[Eudalia] Tüfeichi Santiago küpayalu? Mai, fei “espíritu arte” lle mai. “Arte”, “magia negra” mu küdaumaniei. Magia negra mu küdaumaniei. “Epu rume magia” mu küdaumaniengi tüfeichi wentru küpayalu. “Magia negra y magia colorá” mu küdaumaniengi. Fei meu rume newenngeni ni küdau tüfeichi winka akualu, tüfachi sábado mu ...

[Autor] Feichi magia, como dijo usted, magia negra kam, chem magia... ?

[Eudalia] Ése winka magia lle mai tüfei. Winka magia ése.

[Autor] Chem dungu sería, entonces ese winka...

[Eudalia] Tüfei ta, tüfei ta fei ta ñi püñmo lle mai üñbitueyu. Como ñi fotüm wü dai ñi kure, fei meu üdengei too la familia üdengei... Üdengei tüfei fei mu ta, apomafiñ engün pingei.

Üñbitutui ñi fo..., ñi koni chi chíñurra tüfei, feichi pichi winka. Tüfei fentei chi pichi winka fei, mongelfiñ kafei. Fei üñbitungei ése. Üñbitutui ñi ñuke. Mai. Füta ka üñbitui, püñmo ka üñbitui, nanün ka üñbitui tüfeichi chíñurra.

Fei fem ... wünen machi mu miyaukefui, inakefun machi cheu rume mongelngekelan pi. Fei akui fau fei inche datufiñ.

(11) 『呼頭』治療はできない

「エウダリア」ただな、ワシは「呼頭」の治療はできん。というのは、他にも術があつてな、その術をかけられて、人が頭を奪われてしまうのだ。足跡を取られてな。人が歩いて残した足跡、それを取り去られたり、あるいはその…、唾やコンフォール（トイレット・ペーパー）を取られてしまうのだ。こうして取られたものを取り返すことはワシにはできん、それはな。そうしたものをしまつて置かれて、そうして術をかけられるのじゃ。これらの品を奪い返すことはワシにはできん。⁶⁾

ワシに教えてくれた叔母なら奪い返すことができるがな。

「マプーチェ女性」あの人なら確かに・・・

「エウダリア」ああ、あの人なら確かにな、その術を施すことができる。ワシはまだその術の域にまでは至っておらん。ああ。より難しいのだ、この術はな。うん、それはな。

「筆者」でも、あなたはマチトゥンの時に・・・

「エウダリア」その時にはワシにもできる。その時なら確かにできる、食べ物で盛られて心臓に巣くった毒を取り出すことはな。それはワシにも全て取り去ることができる。薬草を使って治療…、体中にすりこんでやるのだ。体の上全体に貼り付いた悪霊とか何でも完全に抜き去るのじゃ。それを抜き去って、薬草だけを使って体中を冷やしてやったり、あらゆることをな。そうすると「術」で貼り付いていたそのウェクフ霊は体から離れる。それを抜き取ってやるのじゃ。そんな風にしてワシは病人を治癒するのだ。卵巣を治療したこともある。

[Eudalia] Eso sí que iñche puedekelan "mütrum lonkoal". Noike hay otro trabajo eso trabajañmangekei, tuñmangekei ñi lonko che. Katrũñmangekei ñi pũnon, aonde el pũnonagũi "el rastro", tuñmangekei, o el... "la saliva o confor" tuñmangekei. Feike puedekelañi tuafiel ése. Ése wardañmangekei tüfei ta küdaumangekei. Feike puedekelañi müntutuafiel.

La tía ta ñi enseñaletu, fei müntutukei.

[Mujer mapuche] Sí, ése es cierto ...

[Eudalia] Mai, ése sí, poukei feichi küdau. Iñche petu poulau feichi küdau. Sí. Doi küdaungei tüfeichi dungu. Sí, eso.

[Autor] Welu, eimi machitun meu ta ...

[Eudalia] Fei mu poukülen iñche, fei meu poukülen mai, nentutuafiel mal ilu, amtukulu piuke mu. Fei nentutukeñi kom. Lawen mu mongeltu..., sofakeñi kom. Feichi espíritu malo pũnayaulu wente cuerpo kom fam entuñmatukeñi. Nentutukeñi. Firkümkeñi ka re lawen mu kom. Tripakei tüfeichi wekufü pũnayaulu, "arte". Nentutukeñi. Femngechi mongelkeñi kutran. Un "ovario" mongelün.

(12) 治療に必要な楽器『カスカウィージャ』がない

「筆者」でも、あなたは歌ったり、お祈りをしたりもするのですか。

「エウダリア」ああ、歌うとも、うん。それにクルトゥルン（片面太鼓）も持っておる。うん。だがカスカウィージャ⁹は持っておらん。カスカウィージャは持ってはおらんのだ。だから、ワシにはカスカウィージャが欠けているのだ。一つ持っておったのだが、よく鳴りはしなかった。

あるグリーンゴがワシのところに持ってきたものも一つあったがな、それはプレゼントしてくれたものなのだ。だが、その者は事の次第がわからんのでな、ワシに持ってきたのはいいカスカウィージャではなかった。習っては…、知らないものでな、どんなのがいいものなのかという事を、じゃろ。壊れてしまった。壊れてしまったんじゃよ、そのカスカウィージャはな。

「筆者」何でもカスカウィージャであれば…。

「エウダリア」そう、役には立たんのじゃ。役に立たん。ああ、役には立たんのだ。というのは、それはカー杯振って使われるじゃろ。だから、壊れてしまう、バラバラになってしまうわけだ。それで、今ワシはカスカウィーじゃを持っておらんのじゃ。１つ持ってはおる、だがよく音が鳴らん。いい音がせんのだ。

（中略）

[Autor] Welu cimi ka ũlkatukeimi, oraciokeimi ka?

[Eudalia] Mai ũlkatukellen mai. Ka nien kultrun. Mai.

Feike kaskawilla nielan. Níelan kaskawilla. Fei faltalen kaskawilla. Kiñe niefun, pero dungulai.

Küpaleleneu kiñe gringo kafei, fei regalofel. Welu como kimlai kidu, kũme kaskawilla no akulelaneu. Adũm..., kimlafĩ chumngelu ñi kũmeken, pu. Trapokawi. Trafokawi chi kaskawilla.

[Autor] Cualquier kaskawilla ...

[Eudalia] No, servikelai. Kũmekelai. Sí, kũmekelai. Noike eso newentukei, kũdaukei. Fei trafokaukei, piazokei. Fei nielafin kaskawilla. Kiñe nien, pero dungukelai. Ad dungulai.

（中略）

（13）マチと医師の分業

「筆者」でも、あなたが治せない患者が来たときには、「あんたは病院に行かなければだめだ」って、そういう事を言われるんですか。

「エウダリア」ああ、そうじゃ。うん。何でもな、そうした者は（病院へ）行かせる。ワシがその患者を治すことができん時は、病院へ行くのだ。

その他にも、患者に嘔吐させると、というのはウェクフ霊を抜いてやるのだが、衰弱した状態になってしまう。気力がなくなって、骨も弱り、気力を消失してしまう。それで、病院に回してやってな、それで骨をしっかりした状態に戻してもらうのだ。病院にはそのための注射があって、骨を回復させる治療もやっとなる。それで、骨をしっかりと状態に戻してもらう。で、病人は元気になるというわけだ。うん。

[Autor] Welu kũpalu kiñche kutranlu cimi pepi kũme el-lakeel, cimi piaimi: "Eimi mũlei ta mi amual ta "hospital" mu, feichi dungu pikeimi?

[Eudalia] Sí, mai. Mai. Kom llemai, amultukefiñ. Iñche puedelafiñ mongelafiel tũfeichi kutran, amutukei 'pital mu.

Ka rapitũfiñ che, fei noike nentuñmafiñ ñi wekufũ, queda debilkũlewekei. Yafũngेतukelai, forongewेतukelai, niewेतukelai valor. Y mandatukefiñ 'pital mu, y fei meu afirmatufi ñi huesu. Hospital meu mũlei en eso inyecciones, ka afirmar los huesos. Fei meu afirmatufi ñi huesu. Fei meu mongetripafemtukei kutran. Mai.

(14) マプーチェの邪術師とウィンカの邪術師

「筆者」このあたりに「カルク（邪術師）」はいるんですか。

「エウダリア」このあたりには「カルク」がうようよしとる。「カルク」みたいな者だらけじゃよ、この辺りはの。どこにでも、集落にも「カルク」はおる。

「筆者」ほう、集落にもですか。

「エウダリア」ああ、そこにも「カルク」はおる。ウィンカの中にも「カルク」はおるんじゃ。エへへ。そうなんじゃ。

「筆者」ウィンカの中にも「カルク」はいるんですか。

「エウダリア」そう、ウィンカにも「カルク」はおる。うわ手なのじゃよ、ウィンカの「カルク」の方がな。ウィンカの「カルク」の方が、マチトゥンの際に骨が折れる。ああ。もっと手がかかる。ウィンカの「カルク」の方が力が強いからな。

「マプーチェ女性」より大きな力を持っているのよ。

「エウダリア」より大きな力を…、というのは、霊を、「魔術」を使って事を運ぶからのう、それは。そうじゃ。それは…、ウィンカの「カルク」の方が力が強いのだ。

[Autor] Fau püle ta mülekei ta kalku?

[Eudalia] Fau püle pütrilei kalku. Pütrilei re kalkungei reke che fau püle. Itrofill mu ka, pueblo mu ka mülei kalku.

[Autor] Ah, pueblo mu ka?

[Eudalia] Ka mülekei kalku. Winka kafei kalkungekei tamién. Ejeje! Sí.

[Autor] Winka ka kalkungekei?

[Eudalia] Kafei kalkungekei winka. Doi adümkei winka kalku. Winka kalku doi küdaungei machitun meu. Sí. Doi küdaungekei. Doi newenngekei ñi kalku winka.

[Mujer mapuche] Tiene más fuerza.

[Eudalia] Más fuerza ..., noike küdaukei espíritu, "magia" mu küdaukei eso. Sí. Ése ... winka kalku doi newenngei.

(15) 『遭遇』病

(中略) …

「筆者」それから、その本にあった別の言葉で「遭遇 trafiyekunun」てのがあるんですが。

「エウダリア」「遭遇する」というのはな、悪霊ウエクフに遭遇するということじゃ。その、「メウレン（つむじ風）」に遭遇するのだ。そうすると、ある、ある哀れな者が、気の毒な者が病気になるというわけだ。それで病気になってしまうのだ。遭遇して、この心臓のところに入り込まれ、まるで心臓にナイフを突きつけられたような感じになってしまうのだ。遭遇するとということ

になるのだ。

「メウレン」がそれじゃ、その「悪い風」じゃ。そう、「メウレン」つまり一つの、一つの竜巻なんじゃ、それは。

「筆者」それから「アンチマジエン」⁽⁹⁾とか「ウィトラナルウェ」⁽¹⁰⁾というのは、そうしたものは存在するんですか。

「エウダリア」ああ、全てそうしたもののな、存在するのだ、それはな。

「筆者」そういうことが「遭遇」なんですか。

「エウダリア」ふん。そう、その通りじゃ。「遭遇」すると、人は病気になって死んでしまう。マチトゥンを受けないと、（マチの）治療を受けないとな、すると死んでしまうのじゃ、「アンチマジエン」とか「ウィトラナルウェ」とかそういうものに遭遇したものはな。

[Autor] Ka kangelu palabra que mülelu ta feichi lifru, "trafiyekunun".

[Eudalia] Trafiyekunungekei, wekufü lle mai trafiyekeunungekei. Fei meulentun trafiyekekei. Fei mu kutrankei ta kiñe, kiñe pobre, kiñe kuñifall. Kutrankei fei meu. Trafentukei, piuketukei fau, cuchillutuñmal piuke trokiukei. Trafentulu tüfei. Meulen ta tüfei eso "viento mal". Mai, meulen un, un remolino eso.

[Autor] Ka mülekei "anchimallen", "witranelhue", feichi pu dungu ta mülekei?

[Eudalia] Mai, kom lle mai fei, mülekei eso.

[Autor] Feichi dungu ta "trafiyekunun"?

[Eudalia] Junnn. Mai, fei lle mai. Trafüyakunungei, fei ta kutrankei, lakei ta che, Machitungelai, datungelai, fei ta lakei ta che feichi trafüyakunungei tüfeichi anchimallen, witranelhue eso.

（16）宗教はカトリック、でも教会には通わない

「筆者」それから、この地では何の・・・、この地に住んでる人はカトリックですか、それとも他の宗教ですか。

「エウダリア」うん、ここにはいろんな宗教の者がおる。カトリックもおるし、エバンヘリコもおるし、それから・・・、あらゆる・・・。

「筆者」いろいろですか。

「エウダリア」ああ、ああ。

「筆者」あなたもカトリックですか、それとも・・・。

「エウダリア」ワシもカトリックだがな、自分の教会には行かん。ああ、とても遠いところにあるのでな、行かんのじゃ。自分のカトリック教会に通いはせん、ワシはな。

だがアルコールもやらん。ああ、わしはアルコールは飲まんのだ。⁽¹²⁾

[Autor] Ka tüfachi mapu mu ta chem ..., pu che ta mülekelu tüfachi mapu mu ta católico ngei ka kangelu religión?

[Eudalia] Mai, fau pütrilei religión, mülei católico, mülei evangélico, mülei ... kom ...

[Autor] Fillkechi ...

[Eudalia] Mai, mai.

[Autor] Eimi ka católicongeimi ka ...

[Eudalia] Iñche católicongellen mai kafei, welu iñche ta amukelan ñi iglesia mu. Mai, füttra kamapulei, amukelan. Asistekelan ñi iglesia católica mu iñche. Welu pütukelan welu tampoco. No, pütukelan iñche.

(17) 霊の降臨する階段『レウエ』

「筆者」そのレウエ⁽⁴³⁾はあなたが作ったのですか、それとも他の人が。

「エウダリア」ああ、それ・・・それはじゃ、ワシを（マチに）仕立てたマチがこのレウエをくれたのだ。その者がな、その者がくれたのじゃよ。

そのレウエを伝ってワシの霊が降りてくる。そう、それを伝って降りてくるんじゃ。

「マプーチェ女性」それは儀礼のたびに、新しいものに取り替えなければならないいんでしょう、ね。新しく作り代えなければいけないのよね。

「エウダリア」ああ、そうじゃ、そうじゃ。

「筆者」儀礼のたびにですか。

「エウダリア」そう。4年⁽⁴⁴⁾ごとに取り替えるのだ、その棒、太い木、それは「ブラブラウエ（「登るためのもの」の意）」じゃ。それは4年ごとに新しいものに取り替えるんじゃ。

[Autor] Feichi rewe ta cimi deumaimi, kam kangelu che?

[Eudalia] Mai, fei ... fei ta ñi machi lle mai, ñi deumapateu, fei elelpaneu tüfeichi rewe. Fei, fei elelencu. Feu mu naüpakei ñi poder inche. Mai, fei mü naüpakei.

[Mujer mapuche] ¿Cada ceremonia tiene que renovarlo, cierto? Tiene que hacerlo de nuevo.

[Eudalia] Sí, mai, mai.

[Autor] ¿A cada ceremonia?

[Eudalia] Mai. A lo meli tripantu mu cambiangekei tüfeichi palu, fücha mamull tüfei, pürapürawe. Fei meli tripantu mu cambiangekei.

(18) 尿を見て病気を診断する

(中略)

「筆者」でも、その病人は最初はあなたの家に来るのですか。

「エウダリア」初めはワシの所に来るのだ。初めはこちらに来る。

「筆者」なるほど。それで、自分の尿を持ってくるのですか。

「エウダリア」ああ、尿を持ってきてな、抜き去っ…、それで何の病気にかかっているかワシは知

るのだ。

（中略）

「筆者」それで、あなたはその尿の色を見るのですか、それとも臭いをかいだり、そうしたことをするのですか、それともただ見るだけですか。

「エウダリア」ああ、ワシは尿を上の方にかざして見るだけじゃ。

「筆者」ああ、こうやってだけですか。

「エウダリア」ああ、テレビに映るように…、何だ、手首とか何かを見るのと同じように、ワシはそれを見る。それで何の病気なのかとか全てのことがわかるのだ。そう。⁽¹⁹⁾

（中略）

「筆者」それで、その病人の病気が何かわかったところで、あなたはその病人の家に出かけて行くんですか。

「エウダリア」ああ。そうしたところで病人の身内の者がワシに言うのじゃ、本人があんたにマチトゥンをして欲しいと言ってる、とな。それでワシは連れて行かれるというわけだ。病人の家でマチトゥンをしてやるのだ。それで治してやるってわけだ。

[Autor] Welu feichi kutranlu ta wüne küpakei ta ta mi ruka meu?

[Eudalia] Wüne küpakei lle mai. Wüne küpakei.

[Autor] Ya. Ka küpalelkei ta ta ñi orina?

[Eudalia] Mai, küpakei ñi orina, entuñmake..., fei mu kimkefiñ chem kutran nien.

（中略）

[Autor] Welu eimi pekeimi ta ta ñi ad, kam nümükeimi, feichi dungu ta deumakeimi, kam re lelikeimi?

[Eudalia] Mai, iñche re witrintukefiñ müten.

[Autor] Ah, famngechi müten.

[Eudalia] Mai, chumngechi rupakei téle mu..., chem, muñeca, todo, femngechi pekefiñ. Kutran kom rupakei. Sí.

（中略）

[Autor] Ka kimlu chem kutran ta ñi nien ta feichi kutranlu, eimi amukeimi feichi ta ñi ruka meu ta ñi kutran?

[Eudalia] Mai, fei ta fei pikeneu, kidungen küpa machitufalui. Fei ta yepakeneu engün lle mai. Machitumekefiñ kidu ñi ruka meu. Fei meu datumekefiñ.

（19）8名のマチトゥン補助者と『通訳』

「筆者」それから、いつもひと…、ずっと、ずっと、一晩かけてマチトゥンをするんですか、それとも場合によって違うんですか。

「エウダリア」ああ、一晩、そう、一晩じゃ。マチトゥンはいつも一晩かけてやる。

8人の者と一緒に事を運ぶのじゃ、ワシはな。8人の者と一緒に事を運ぶのだ。(16)

「マプーチェ女性」へえ、8人と？

「エウダリア」うん、8名の者とな。

「マプーチェ女性」あなたの他になの。

「エウダリア」ああ、ワシの他にじゃ。8人とな。

「筆者」それは家族の人たちですか、それとも他の…。

「エウダリア」いや…、誰でも構わん、ウィンカでもマプーチェでも誰でも同じじゃ。そう。

『カラビネーロ』⁽⁷⁾ もおる。『カピタン』⁽⁸⁾ もおる、二人な。

「筆者」ああ、マチトゥンの儀礼にですか。

「エウダリア」そう、マチトゥンの儀礼にじゃ。うん。

「筆者」そうすれば、より秩序が保てるというわけですね。

「エウダリア」ああ、そうじゃ。

(中略)

「筆者」でもあなたには助手が一人いますよね、「マチを話させる者」⁽⁹⁾ という、でしょ。

「エウダリア」ああ、それはワシの夫じゃよ。

「筆者」ああ、あなたの旦那さん。

「エウダリア」ああ、ワシの夫じゃ。あれがやってくれる。今は家を出とっておらんがね。人を集めに、というのは土曜日に一仕事あるのでな、じゃから人手を集めに行ったんじゃ、人手を集めにな。(中略)

[Autor] Ka rumel kiñe, kiñe kom, entero, kom, kom pun cimi machitukeimi, ka depende?

[Eudalia] Mai, kiñe pun, mai kiñe pun lle mai. Kiñe pun machituken.

Pura che mu küdauken iñche. Ocho persona mu küdauken.

[Mujer mapuche] Ah, ¿con ocho?

[Eudalia] Nnn, con ocho persona.

[Mujer mapuche] ¿Aparte de usted?

[Eudalia] Sí, aparte de mí. Con ocho.

[Autor] Son familiares kam kangelu ... ?

[Eudalia] No ..., chuchi ngeai rume, winka ngeai rume, mapuche, todo, igual no má. Sí.

Nicken "carabínero". "Capitán" mülekei epu.

[Autor] Ah, machitun dungu mu?

[Eudalia] Mai, machitun dungu mu. Sí.

[Autor] Doi orden mülekei famngechi.

[Eudalia] Mai, sí.

(中略)

[Autor] Welu cimi nieimi kiñe ayudante, "machidungulfe" pingekci, no?

[Eudalia] Mai, fei ta ñi fūta lle mai.

[Autor] Ah, ta mi fūta?

[Eudalia] Mai, ta ñi fūta lle mai. Fei adūmi. Feula tripai, ngelai. Amui ta inkatuchealu como sábado mu nican kūdau, fei amui inkatuchealu, pa' juntar las personas.

(中略)

(20) 薬草の採集場所

「筆者」あなたはどこで、どこの野原でジェルバを、薬草を取るのですか。

「エウダリア」薬草はな、ワシはこの溪谷で取るだけじゃ。この溪谷には完全にそろっておるのでな、ワシの「薬局 farmacia」がな。うん。(笑い)

「筆者」それで、あなたは全ての、あらゆる薬草をここで見るのですか。

「エウダリア」ああ、全ての薬草を集める。うん、ここにはあるのだな。全ての薬草がこの溪谷にはあるんじゃ。

[Autor] Eimi cheu, chuchi lelfün mu ta entukeimi ta hierbas, lawen?

[Eudalia] Lawen iñche nentuken tūfachi quebrá mu mūten. Tūfachi quebrá mü kom mülei ñi "farmacia" iñche. Sí. (risa)

[Autor] Ka cimi lelikeimi kom, fillkechi lawen?

[Eudalia] Mai, fill lawen trapümken. Mai, tūfa mu mülei. Kom lawen mülei tūfachi quebrá mu.

(21) 『父なる神』による、夢を通じての知識の伝授

「筆者」それから、その『コノシミアント』、その知識をあなたは、誰があなたに教えたのですか。

「エウダリア」ワシは夢でその、薬草を知る、うん。夢で薬草を教えられるんじゃ。どの薬草を奉じたらいいのか、何の病に効くのか。どんな薬草でもやたらに奉じればいいというものでもないからの。全ての病気にはそれぞれ薬が決まっておる。どんな薬でもいいからやたらに探しに行くというものでもない、治りはせん、ああ。そうじゃ。

「筆者」それじゃあ、その夢であなたにそうした事を教えるのは「父なる神」ですか。

「エウダリア」ああ、ワシは夢で薬草を見て、それで、それで溪谷に探しに行くのじゃよ。

「筆者」それは「父なる神」とはいませんか。

「エウダリア」そうじゃ。その方の幻影なのだ。その方がワシに夢を見させるのだ。だから夢を見る。夜夢を見るんじゃよ、眠っている時にな。それでワシは薬草を探しに行く。その薬草がどこにあるのかということも、全て教えられるんじゃ。

「筆者」でも、あなたにいたるのは「父なる神」だけ…。

「エウダリア」「父なる神」だけじゃ。

[Autor] Ka feichi conocimiento, feichi kimün ta cimi,inei kimeleimeu?

[Eudalia] Iñche peuma mu kimkefiñ tüfei lawen, mai. Peuma mu enseñalngeken lawen. Chem lawen ñi witrameal, chem kutran mu ñi kümen. Cualquiera lawen witrangemekelai tampoco. Todo la enfermedad tiene su remedio. Cualquier remedio witrangemei tampoco, mongekelai, pu. Sí.

[Autor] Fei mu ta feichi peuma mu kimeleimeu feichi pu dungu ta Chau Dios?

[Eudalia] Mai, iñche peuma mu pekefiñ lawen, fei, fei yemekefiñ quebrá mu.

[Autor] Fei ta "Chau Dios" pikelai?

[Eudalia] Mai. Fei ñi perimontu lle mai. Fei elkeneu peuma. Fei meu peumaken. Pun peumaken umau mu. Fei yemekefiñ lawen. Cheu ñi mülen, kom enseñalngeken.

[Autor] Welu cimi nieimi re Chau Dios ta ... ?

[Eudalia] Chau Dios müten lle mai.

(22) 2 タイプのマチ

「エウダリア」それから、他にも「マチ」もおる。他にもマチはおってな・・・

「筆者」ああ、マチの魂ですか。⁽²⁰⁾

「エウダリア」マチの魂を持っはいるのだから。だがそれらの者は人に術をかけたり、殺したりもするんじゃ。ワシは決してその術は修得したことはない。ワシはやらん。ワシは病人を治すだけじゃ。ああ。マチの中には人を殺すことをする者もおるのだ。

「筆者」マチでですか。

「エウダリア」ああ、マチじゃ。「お願いだ」と言ってこちらのようなある者が、誰かに怒りを抱いていたとしよう、この女性がじゃ。それで、その者を殺してやろうと考えたとすると、「お願いよ、薬を下さいな。」と言われて、それ(薬)を渡してしまうということがあり得るのじゃ。

じゃが、ワシはその薬は持っておらん。ワシにはそんな風に薬を処方することはできん、人を殺すことはできん。できんのだ、ワシには。持っはいないのじゃ、その、その「能力」はワシにはないのだ。それはできん。それもやはり別もんなのじゃ、その能力はな。その人を殺すというのはな。

「筆者」つまりタイプがあると、いろいろな、いろいろなタイプのが、いると…マチがね。

「エウダリア」そう、人を殺すマチもおれば、人を治すマチもいるというわけだ。善良な意志を持った者、そうした者は人を治す。つまり、(マチの)仕事には2種類あるんじゃ。その手の術はワシにはできん、やらんのじゃ、ワシはな。やらん。

[Eudalia] Ka mülei lle mai machi kafei. Mülei ta machi ta ...

[Autor] Ah, machi püllü?

[Eudalia] Machi püllüngelu. Welu tüfei engün kafei küdaumakei che, langümchekei kafei. İnche nunca feichi küdau adümlafiñ. İnche no. İnche mongelcheken müten. Sí. Algunos machi kafei langümchekei kafei.

[Autor] Machingelu?

[Eudalia] Mai, machingelu. "Fürenean" kiñe che tal como tüfa, lladkütuchelefule ñi ñañai tüfa. Y langümafiñ pifule, inche fürenean lawen eluan pipaelimu, eluafuiñ ta ti.

Welu inche nielan feichi lawen. İnche puedelan femngechi lawentucheal, langümcheal no. Puedelan inche. Nielañ feichi, feichi "don" nielañ. Ése no. Ése ka wichulei tüfeichi "don", eso langümchekelu.

[Autor] O sea, mülei tipos, kakeume, kakeume tipo de, müle... machi.

[Eudalia] Mai, mülekei machi kafei langümchekei, ka mongelchekei lle mai. Kümeduamtun nici che, fei ta mongelkei kafei. Fei epurumelekei ñi küdau. Fei inche puedelañ, femkelan inche. No.

(23) 通常の疾病の治療

「筆者」 例えば、風邪にかかった病人、そういう風邪をあなたは治療しますか。

「エウダリア」 ああ、ああ。ワシは何でも治す、風邪もな。うん。

「筆者」 でも、薬草だけでですか。

「エウダリア」 薬草だけでじゃ。

「筆者」 というのは、その病気の場合には、完全なマチトゥンをやる必要はない、ですよね。

「エウダリア」 ああ、そうじゃ。薬草だけで治・・・

「筆者」 なるほど。そうか。で、例えば頭痛、頭の痛みも・・・

「エウダリア」 ああ、それは薬草だけで治す。

「筆者」 ああ、薬草だけでですか。なるほど。それから熱の類は、「アロフ」、何て言いましたかね、「アレフ」？

「エウダリア」 熱の病かな？

「筆者」 ええ、ええ。

「エウダリア」 ああ、全てな、そうした病は薬草だけで治すんじゃ。

「筆者」 その病気はウェクフの病ではないんですか。

「エウダリア」 ああ、それはウェクフではない、それはな。それは・・・

「筆者」 ただ単なる・・・

「エウダリア」 単に風邪だというだけじゃ、それはな。

「筆者」 ああ、ふむふむふむ。つまり場合によると、病気によってあなたは薬草だけでということもあるし、もっと骨が折れるということもあるわけですね、その治療が。

「エウダリア」 ああ。

[Autor] Por ejemplo, kiñeke kutranlu resfrío meu, cimi tratakeimi feichi resfrío?

[Eudalia] Mai, mai. Kom mongelkefiñ resfriaio. Sí.

[Autor] Welu re hierba müten meu?

[Eudalia] Re hierba mu müten lle mai.

[Autor] Porque kom machitunngele duamngekelai feichi kutran meu, no?

[Eudalia] No, mai. Re hierba mu müten mongel ...

[Autor] Feci. Ya. Ka por ejemplo, kutran lonko, dolor lonko ka ...

[Eudalia] Mai, fci ta hierba mu müten mongelkefiñ.

[Autor] Ah, hierba mu müten? Feci. Ka fiebre dungu, "arof", como se llama, "aref"?

[Eudalia] "Are kutran?"

[Autor] Sí, sí.

[Eudalia] Mai, kom lle mai, mongelkefiñ hierba mu müten.

[Autor] Feichi kutran ta wekufü kutran ngelai?

[Eudalia] No, fci ta wekufü no ta tüfei, ése ...

[Autor] Re simple ...

[Eudalia] Simplemente no más resfriaio ése.

[Autor] Ah, ya, ya, ya. O sea, dependekei, depende de enfermedad, cimi re hierba müten, kam doi küdaungei feichi tratamiento.

[Eudalia] Mai.

(24) マチトゥンの費用

「筆者」 ああ、それとあなたはマチトゥンの際にお金は取るんですか。

「エウダリア」 ああ、取る。ロンコ様方が取るのじゃ。

「筆者」 ああ、ロンコ様方がね。

「エウダリア」 ああ。ロンコ様方が取るべき額を取るのじゃ。

「筆者」 そのロンコっていうのは霊ですか？

「エウダリア」 霊が徴収するのじゃ。

「マプーチェ女性」 彼女に憑く霊よ。彼らが彼女にいくら取るべきだっていうの。

「エウダリア」 ああ、そのことを、いくら取るようになってワシに言うんじゃ。

「筆者」 なるほど、でも最中に・・・？

「エウダリア」 霊たちが入ってきた時に取るのじゃ。

「筆者」 マチトゥ、マチトゥンをする時・・・？

「エウダリア」 ああ。

「筆者」一人、そのロンコというのは一人だけですか、一人・・・？

「エウダリア」ああ。ロンコの一人が取るのじゃ。もしただ働くだけだったら、ワシはどうやって生きて行ったらいいというんじゃ。

「筆者」そりゃそうです。あなたの仕事ですもの、ね。

「エウダリア」そう、仕事じゃ。仕事ならやはり金を取るじゃろう、の、そうじゃよ。いったいワシはどうして生きて行ったらいいんじゃ。

「筆者」でも、あなた、あなたが自分だけで決めるわけではないんですね。そうじゃなくてそのロンコが？

「エウダリア」ああ、ロンコがそうして取るのじゃ・・・。うん。寝るための寝具、食べ物、砂糖、マテを飲むための茶、何でも。そうじゃろ。ああ。そうしたものを手に入れるためにワシは金を取られる。もしワシが働くだけだったら、金を取らんかったら、食べ物を手に入れることができぬ、じゃろ。薬は値がするのだ、薬はな。集落の薬局で薬に値段があるように、ワシの薬草も値がはるんじゃ。放っておけば死んでしまう者を、ワシは生き帰らせてやる、ああ、その者に自分の命を返してやるんじゃからな。

[Autor] Ah, ka eimi cobrakeimi ta machitun dungu mu?

[Eudalia] Mai, cobraken. Pu lonko cobrakei.

[Autor] Ah, pu lonko?

[Eudalia] Mai. Pu lonko cobrakei chuntan cobrayal.

[Autor] Feichi lonko ta espíritu?

[Eudalia] Espíritu cobrakei.

[Mujer maupche] Espíritus de ella. Ellos le dicen cuánto tiene que cobrar.

[Eudalia] Sí, lo dicen cuánto tengo que cobrar.

[Autor] ¿Claro, pero en el momento de ... ?

[Eudalia] En el momento de entró los espíritus, cobrakei.

[Autor] De hacer machitu..., machitua?

[Eudalia] Mai.

[Autor] Kiñe, feichi lonko ta kisu müten, kiñe... ?

[Eudalia] Mai. Kiñe lonko cobrakei.

Iñche chumngechi mongeafun kai, re küdaüküleli müten mai?

[Autor] Claro. Feichi ta mi küdau, no?

[Eudalia] Mai, küdau. Falikei küdau tamién, pu, eso. Chumngechi mongeafun iñche?

[Autor] Welu eimi, eimi kisu müten determinakelaimi? Sino que el lonko?

[Eudalia] Mai, lonko fei cobrarar... Mai.

Ropa umañmuam, iañmuam, azúcar, yerba matetuñmuam kom. Mai. Feu mu mai, cobrakeneu plata.

Iñche re küdaunkunuli, cobranoli plata, pelaafun chem ial, pu. Lawen falikei, lawen. Chumngechi falikei pueblo mu farmacia mu lawen, ta famngechi fali ñi lawen iñche kafei. Layachi che iñche mongeltukellen mai, wiñolmatukefiñ ñi vida.

< 5 >注

- (1) マチによる白人系患者の治療、白人系邪術師の存在については、千葉 (1998年) 166-185頁参照。
- (2) 「ウィンカ winka」 広義には「よそ者」をさすが、今日のマプーチェの間ではより具体的に非先住民系チリ人、つまりチリ人口の大半を占める白人系・混血系人口を指す場合が多い。通説によれば、この言葉は「インカ」の複数形「プ・インカ pu inka」がデフォルメして発生したと考えられている。
- (3) エウダリアはスペイン語の"arte"という言葉、ネガティブな性格の「邪術」あるいは「黒魔術」の意味で用いている。この種のスペイン語表現の使用については、千葉 (1998年) 176頁参照。
- (4) 「ペリモ」または「ペリモントウ」はマプーチェ語で「幻影」、「幻覚」を指す言葉である。マチになるべき者が遭遇する「ペリモントウ」は、エウダリアのように自然現象の場合の他、雄牛や蛇など特定の動物、旗や銀細工など象徴的な事物の場合もある。
- (5) 筆者は、「マプーチェの患者 mapuche kutran」というつもりで「マチの患者 machi kutran」と発言してしまったが、エウダリアは筆者の質問の真意を理解して答えている。
- (6) 「グリンゴ gringo」というのは、チリの俗語スペイン語では、通常のチリ人（ウィンカ）ではない外国人、特に米国人、英国人、ドイツ人などのゲルマン系の白人という意味で用いられることが多い。だが、数日後に行われたマチトゥンに実際にやって来たのは、通常の白人系チリ人であった。
- (7) 「チニューラ chiniurra」とは、スペイン語の「婦人 señora」が変形した言葉で、「ウィンカの既婚女性」を意味する。
- (8) こうしたタイプの邪術に関して、エウダリアは別の発言の中で次のような指摘も行っている。

「(衣服、トイレット・ペーパーの切れ端などを) 墓地に持って行かれ、埋められ、そうして祈られる。だからその者は死ぬ。だから死んでしまうのじゃよ。そんな風にして術をかけるわけじゃ。」

"Yeñmangekei cementerio mu, rüngaltukuñmangekei, fei orañmangetukei. Fei mu lakei ta che. Fei mu lakei. Femngechi küdaumaniei. "

- (9) 「カスカウィージャ kaskawilla」 スペイン語の「鈴」を意味する名詞"cascabel"が変形してマプーチェ語化した楽器名称。革製の取っ手の部分に金属製の鈴が数個付けられたもの。今日のマチにとって、霊的治療の際に不可欠な道具の一つと認識されている。
今日のマチの多くが、エウダリアと同じように、マチトゥンの実施に必要な道具を獲得することの困難さを経験している。この問題については、千葉 (1997年) 221-224頁参照。
- (10) 「アンチマジェン anchimallen」 小人の姿をした悪霊。
- (11) 「ウィトラナルウエ witranalwe」 馬に乗った大柄な男の姿で現れるとされる悪霊。
- (12) 伝統的にカトリックの影響の強いマプーチェだが、彼らがプロテスタント系に改宗する主な理由の一つに酒癖がある。エバンヘリコと呼ばれる宗派は飲酒を厳しく禁じているため、酒癖に悩む「カトリック」のマプーチェがこれを断ち切るという目的でエバンヘリコに改宗するという例は多い。
- (13) 「レウエ rewé」 「聖なる場所」、あるいは「聖なるもの」を意味するマチの祭壇。一般的には、マプーチェの聖木である「カネーロ」で作った階段状の木彫りを中心に、聖性があるとされる植物の枝を側面に配した構造になっている。
- (14) 「4」はマプーチェにとって宗教的に幸運な数字と考えられている。例えば祈願儀礼の際にレウエの回りを踊りながら回るのも4回、そして祈禱も同じ内容を4回繰り返すことが多い。
- (15) 疾病診断の手段として「尿」を使うという方法は、必ずしもマプーチェ独自のものではないようだ。以

前筆者が、宗教民謡の調査のために中央部農村地帯で行った聞き取り調査の際に対話した農民たちの証言によれば、同地域に住む白人・混血系農民の間で今世紀の中葉に至るまで医療を担当してきた「メイカ meica」または「メイコ meico」と呼ばれる民間医療師たちも、やはり尿の状態を見ることによって病気の診断を行っていた。

この事実は、今日のマチの治療体系の中には白人系の民間医療体系と共通する要素が含まれていること、そして、この両者の間での要素伝播の可能性を示唆している。

- (16) 前述のように、マプーチュの間では4あるいは4の倍数が、宗教上重要な意味を持っている。ここでエウダリアは、8名の助手が参加すると述べている。またマチトゥン後にエウダリアや彼女の夫が筆者に対して行った証言によれば、これらのいわば『8名の生きた助手』の他に、やはり8体の『戦士 kona』と呼ばれる補助霊も悪霊との戦いに加勢するという。
- (17)、(18) 『カラビネーロ』、『カピタン』は、それぞれ本来のスペイン語では『警察官』、『隊長』を意味する用語である。

エウダリアが『カラビネーロ』という言葉の口にした時、筆者は文字どおり「警察官」の意味で理解していた。だが実際には、病人の体に入り込んだ悪霊を駆逐するために猟銃を撃つ役割を担当する人物を指す名称であることが土曜日の儀礼の時に判明した。『カラビネーロ』という名称のこうした用法は、今回の調査の範囲内ではエウダリアの場合のみに限られていた。

一方、『カピタン』は、儀礼的な目的で使われるナイフを担当する人物を指す名称として使われていた。

- (19) この助手を指す最も一般的な名称は、正確には「マチを話させる者 dungunmachife」あるいは「マチに話しかける者 dungumachife」である。
- エウダリアの場合、この役割の人物は彼女の夫だが、スペイン語で本来「男らしい男」を意味する「マチョ macho」という特殊な名称を用いていた。
- (20) この時、筆者は文脈の流れから、「神」以外に生きたマチに守護霊として憑く、亡くなったマチの魂のことにエウダリアが言及しているものと解釈していた。だがこのときエウダリアは、人に害を与える術を行うマチの事に話題を変えていた。つまり、自分を援護する主要な神格が「父なる神」であることを強調することによって、自分が「治療」のみを行う「善良な」マチであることを主張したものと考えられる。

< 6 > 参考資料

(1) 音声資料 (MD録音)

Raimán, Eudalia, Comunidad Pililmapu, Comuna de Lumaco, 15 de agosto de 1996.

(2) 文献資料

千葉泉、「マチと夢と銀細工ーチリ先住民伝統医療師の現状ー」、『大阪外国語大学論集』第17号所載、1997年、203-230頁。

千葉泉、『馬に乗ったマプーチュの神ーチリ先住民文化の変遷ー』、大阪外国語大学学術研究双書19号、1998年、216頁。

< 7 > 感謝の言葉

本稿で扱った貴重な証言を与えてくれたマチのエウダリア・ライマンさんに感謝したい。また、いくつかのマプーチュ語表現の解明に協力してくれた Cholchol 出身の友人 イラリオ・ウイリレフ氏にも感謝する。

Chaeltun piafiñ ta machi doña Eudalia Raimán ta ñi eluetun mu tũfachi kimün. Ka mañumafiñ ta ñi wenüi don Hilario Huirilef, tuulu ta Cholchol, ta ñi kelluetun mu kiñeke trokiñ dungun mapudungun mu.

Le agradezco a la machi doña Eudalia Raimán, por haberme dejado este valioso conocimiento. También mi agradecimiento se dirige a mi amigo don Hilario Huirilef, oriundo de Cholchol, por haberme colaborado para aclarar algunas expresiones en mapudungun.